

2014年薬学部第2問

 次の問いに答えよ.

- (1) 円 $(x-a)^2 + (y-b)^2 = A$ (a, b, A は定数で $A > 0$) と直線 $y = x$ が接するとき, A を a と b で表すと $A =$ である.
- (2) 円 $x^2 + y^2 = 5$ に接し, 傾きが -2 である直線の方程式は である.